

令和7年度『チーム医療授業紹介』

—劇団365とプレイバックシアターをとおしてチームを学ぼう—

12月23日に、香川県内で活動する『プレイバックシアター劇団365』を招待して、劇をとおして『チーム』について学ぶ授業をしました。プレイバックシアターとは、即興劇です。司会者、語り手、役者、音楽家、観客から構成され、誰もが語ることのできる安心で安全な場をつくります。語り手にとっては、自分のことを客観的に振り返る機会になり、観客（他の学生達）にとっては他者の気持ちに共感し、自分自身の経験を思い出し振り返る機会になります。看護を学ぶ学生は、患者さんの語りを聴き思いに寄り添うことや、他のチームメンバーと目標を共有し自らの役割を果たすことが求められます。他者の気持ちに寄り添うためには、自分自身も大切なストーリーをもつ存在であり、他者から傾聴され共感される経験が必須です。今年は、43名の学生が参加し、他者と何かと一緒にしたチームで取り組むストーリーを語り、観る経験をしました。「目標を成し遂げた達成感・懐かしさ」「初めて挑む緊張感」「心強さを感じた」「尊敬の気持ち」「目標に向けた焦り」「分かり合えない怒り」「怖くて悔しい気持ち」等々、チームにまつわる様々なストーリーが語られました。学生の感想は「今まで見たことのない世界観！！」「振り返って考えることができた」「打ち合わせなし、すごい…」「勇気がなくて語ることはできなかったけど、様々な感情に触れることができて刺激的な時間だった」等。貴重なストーリーを本当にありがとうございました。今回は語らなかった方、機会があれば是非次回は……。（チーム医療：岡田・竹内）



輪になって『プレイバックシアター劇団365』のメンバー紹介



オープニングでは劇団員のチーム体験を紹介



学生の体験したチーム体験を劇で再現